

ふくおかの経済

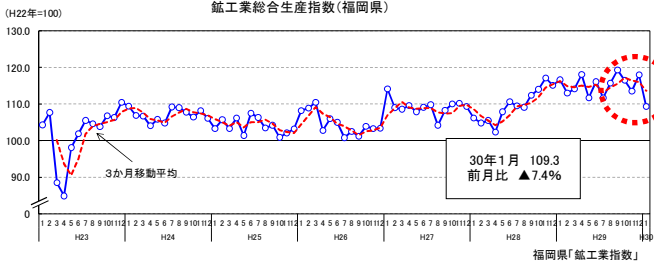
平成30年3月号



生産

高水準で推移

1月の生産指数は、輸送機械などが低下して、前月比で2か月ぶりに低下したものの、引き続き高水準で推移しています。

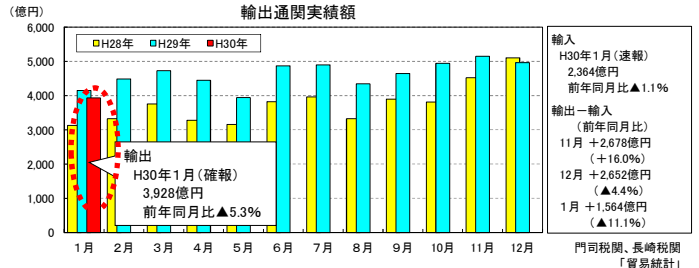


鉱工業生産指数は、平成22年の生産水準を100として、その変化を表しています。

貿易

輸出は高水準で推移、輸入は回復している

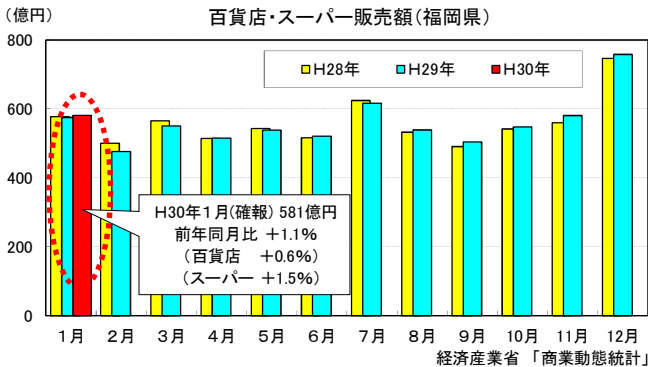
1月の輸出は、米国向け自動車や韓国向け半導体等製造装置などの減少により2か月連続で前年を下回ったものの、引き続き高水準で推移しています。



消費

緩やかに増加している

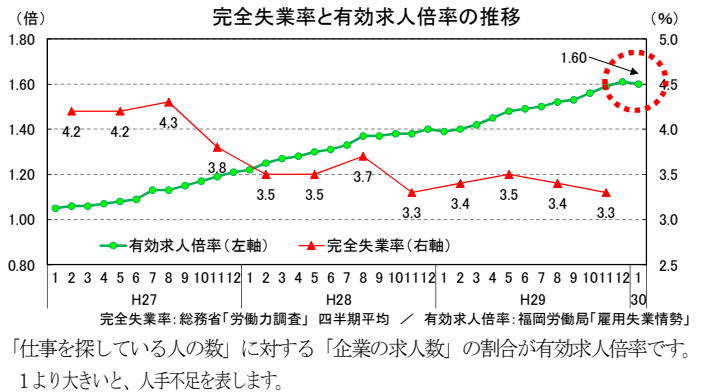
1月の百貨店・スーパー販売額は、初売セール売れ行きが好調で、化粧品や高額品の好調が続いており、6か月連続で前年を上回りました。



雇用

着実に改善が進んでいる

1月の有効求人倍率は1.60倍で、昭和38年の統計開始以来、過去最高の水準で推移しています。



今月のトピック 福岡県の高齢者就業状況 ～「70歳現役社会」の実現を目指して～

- 高齢化の進展などに伴い、高齢者(65歳以上)の就業者数は年々増加しています。平成27年における福岡県の「高齢者就業率」は全国より低いものの、平成22年からの「高齢者就業数の増加率」は全国を上回っています(図1)。
- 福岡県の増加率が全国を上回る要因を分析すると、男女ともに65～69歳の伸び率が大きく、70歳以上も全国を上回っています(図2)。業種別にみると、男性では運輸・郵便と建設業、女性では医療・福祉と卸売・小売業の増加率が高くなっています(図3)。人手不足感が強く、就業者数の多い業種で高齢者の就業が進んでいる状況がうかがえます。

図1. 高齢者就業率と増加率(全国・福岡県)

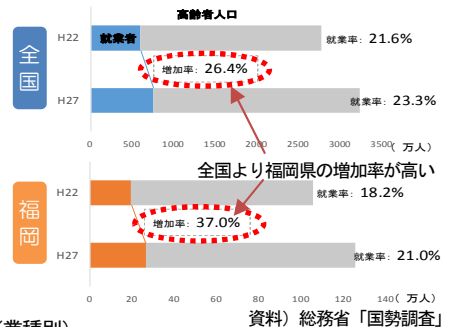


図2. 就業者増加率の寄与度分解(年齢階級別)

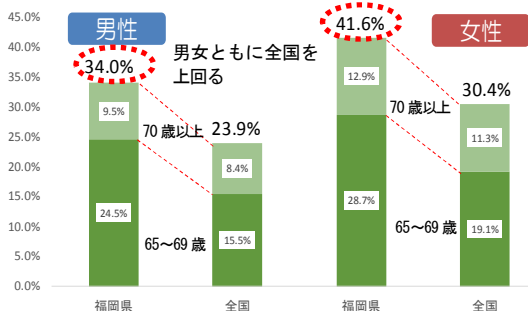
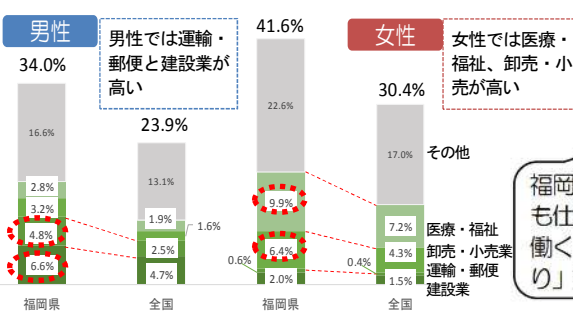


図3. 就業者増加率の寄与度分解(業種別)



福岡県では、高齢になっても仕事をもち、いきいきと働く「70歳現役社会づくり」を進めているのじゃ!

(トピック担当: 分析1班 佐藤)